



菊川市議会だより

議会のひろば

2023.8.17 No. 75

今月の
特集

地域の「困った」を解決！
西方地区 きょうえんたい 郷援隊の皆さまに聴きました

特集……………P01
6月定例会概要……………P03
一般質問……………P05
政務活動費報告 他……………P11
議会活動レポート……………P12
みんなの声 他……………P14
きかせてママの声 他……………P15



菊川市ホームページ
市議会のページは
こちらから



特集

地域の「困った」を解決！

西方地区

きょうえんたい
郷援隊の皆さまに聴きました

「皆さんの笑顔が活力です」

〈郷援隊を始めるきっかけは？平成24年の西方川の草刈りからと聞いていますが〉

・西方地区には西方川が流れていて、毎年奉仕活動があります。夏の暑い時期に、130台くらい草刈り機を出して行いますが、堀



東遠学園での剪定作業

市民と議会をつなぐ特集ページです。今回は、西方地区を中心に、河川の草刈りや時には個人宅の庭木の剪定まで、幅広く活動されている郷援隊の皆さんに、その活動や思いを伺いました。

らかな。週に2回、半日ほど活動しています。

・作業の予定は、予定表を作って配ることもありますが、拠点の作業場にホワイトボードが置いてあって、そこに書いています。

〈どんな方から依頼がありますか。差し支えなければ依頼内容も教えてください〉

・多いのは高齢で男手が無い家庭からの依頼でしょうか。郷援隊のことは□□ミで広がっているようで、他にも裏山を背負っている家庭からの依頼や耕作放棄地、田んぼの整備なども頼まれます。

・今日は東遠学園に来ましたが、社会福祉協議会経由でも依頼が入ります。ケアマネジャーからの話も多いですよ。遠い時には御前崎まで作業に行きました。

〈どんな時にやりがいを感じますか〉

・やっぱり、少しでも地域の役に立っているなと感じたときは良いですね。□□ミで依頼が来るって事はある程度組織を認めてく

〈いつも何人ほどで活動されていますか〉

田地区は割り当てが約2キロの両岸と相当長く、班によっては男性が出られず、女性ばかりになる所もありました。その状況を見て、当時の自治会長が「少しでも負担が軽くなるように」と、事前に一人で土手の草刈りをしてくれていたんです。その姿に感じるものがあり、自治会を応援する組織があると良いなと思いました。それがきっかけです。

・堀田にはお寺や裏山に歴史的な場所もあり、近くのこども園の園児たちが散策することもあります。まずはその草刈りや、緑化整備をしようと有志を募ってスタートしました。

・発足当時メンバーは16名でした。メンバーの入れ替えも少しありましたが、そのくらいで動いています。その日都合がつくメンバーで活動するので、多く出てきて13名く



借用したハンマーナイフでの草刈り

れているのかなと感じます。

また、一緒に作業することで同じ時代に生きた人間がまだ消えていないと確かめられるのも良いです。活動するのはひとりぼっちになりたくないってことかな。まわりに一緒に活動できる人たちがいることで安心できます。「働く敬老会」でしょうか(笑)

・仲間と楽しく話しながら体を動かして、地域の情報交換なんかもできる。ボケ防止にいいですし、それで地域のお役に立てるのも嬉しいですね。

〈逆に、大変だと感じるのはどんな時ですか〉

・この仕事が好きでメンバーの集まりだからそんなに感じることはないかもしれませんが……。とんでもない山の整備の依頼とか。あれは危険分野ですね(笑)

・草刈り機とかチェーンソーとかの扱いも、危険を伴います。一つ間違えると大怪我に繋がりますから、一日、無事に活動を終えることができて、作業した場所が綺麗になっているのを見ると、「ああよかったなあ」と思います。

〈課題と感じているのはどんなことですか〉

・とにかく資金不足が課題です。休耕田とか西方川、防災用の池とかで作業をするときは、ハンマーナイフが欲しいです。竹や枝を切った後、処理をするときの粉砕機も有れば良いですね。現在はお金を払って処分しているのです。必要な備品を買う資金が得られるか、市が粉砕機を用意して貸し出すなど、対応してくれると助かります。

・郷援隊の活動は、基本的にボランティアです。他の地域でもこういう組織ができると、地域がキレイになるし、年を取ってから無理なくやりがいをもって動くこともできて、いいんじゃないかと思っています。



ご協力ありがとうございました。

〈取材協力〉

取材にご協力いただいた郷援隊の皆さま

概要

6月定例会

審議結果

会期 28日間 令和5年5月30日～6月26日

陳情 6件	請願 1件	議案 30件	報告 5件
----------	----------	-----------	----------

賛否が分かれた議案一覧表

議案番号	議案名	結果	渥美嘉樹	東和子	坪井仲治	織部ひとみ	渡辺修	須藤有紀	西下敦基	鈴木直博	小林博文	赤堀博	横山陽仁	織部光男	倉部光世	松本正幸	内田隆	横山隆一	山下修
請願4-2	環境資源ギャラリーに関する、新廃棄物処理施設整備検討委員会の6項目の提言を、名実ともに提言通り実行させることを求める請願書	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	—

※○…賛成 ×…反対 欠…欠席 ※議長（山下 修）は採決に加わらない。
すべての議案名および審議結果は菊川市議会ホームページをご覧ください。議会事務局へお問い合わせください。

審査ピックアップ 議案第48号

菊川市一般会計補正予算（第2号）

令和5年度の事業を行うにあたり、当初の予算に過不足が生じたものについて、その理由などを確認し、課題や問題点について議論しました。

審査でこんな質問がされ、自由討議でこんな意見が出ました。

② 省エネ家電製品購入事業補助金の具体的な補助内容は。

① 対象商品は、電気冷蔵庫、電気冷凍庫、照明器具、テレビ、エアコンの5品目。対象

店舗は、市内の店舗または事業所からの購入に限る。対象

経費は、製品費、取付工事費

であり、処分費やリサイクル

料は対象外である。補助金額

は、対象経費5～10万円未満

で1万円、10～15万円未満で

2万円、15万円以上で3万円

の補助である。1世帯につき

1件の申請で、買い替えに限る。

購入期間は8月中旬から年内12月末までの実施を予定している。申請書の受付期間は、購入後に写真確認により実績で申請するため、2、3週間後の開始となる。手続上、1月31日頃までの受付とする予定である。

買い替えて誰でも補助されるが、例えば5年以上、10年以上経過したものを対象とすれば、本当に古いものを皆が買い替えるのではないか。

製品価格に対する段階的な補助金となっているが、電気使用量や省エネ率を補助金の対象にしたほうがよい。

㊤ 保育事業費、補助金の予算額の根拠は。おむつ処分の備品についての説明を。また、処分費用はどうなるのか。

㊤ 補助金の予算額148万3000円の根拠は、各園に必要なごみ箱の購入及び設置にかかる費用を補助金額として、園からの要望全てを計上し、算出した。備品は、各園で園児数や建物等、保育環境や運営状況が異なるため、保育室に置くための小さなごみ箱、車のついた移動式のごみ箱、または屋外に設置する大きな収集庫等、様々である。その後の処分費用は、これまでどおり園の負担となる。

園ごとに算出したごみ箱等の容器を買うという補助金なので、今後どうしても業者に出す処分費用の園負担は増えてしまうのではないか。

保護者への補助は出てきているが、保育士に対しての補助や援助、仕事の負担軽減も必要である。



㊤ 防犯対策推進費について、自治会管理防犯灯のLED化の進捗状況は。また、更新数200基の算定根拠は。

㊤ 自治会ごとに防犯灯のLED化に差があり、既に全てLED化している自治会もあれば、修繕に併せて付け替えを行っている自治会もある。更新状況は、設置事業者への聞き取りから、蛍光灯防犯灯は現在も1000基程度使用されているのではないかと考えている。算定根拠について、

要望の取りまとめから工事完了までの8か月を事業期間として計画し、200基とした。

1基当たり年3000円程度の経費が下がり、自治会の負担も減る。また、CO2削減の取り組みの面でも進めて欲しい。

㊤ 茶業振興費、地理的表示(GI)の周知、PRの方法とPR用品の発行部数と配布先は。また、見込まれる効果は。

㊤ PRの方法は、パンフレット、ポスター、チラシについては店頭掲示や茶商が使用する。新しい取り組みとして、インスタグラムの広告やキャンペーンで、フォロワーの多い方、関心度が高い方等を把握し、そういった方々に広告やキャンペーンを実施する。PR用品の発行部数は、パンフレットが5万部、ポスターが200部、チラシは3万部を予定している。見込ま

れる効果は、既にGI導入された他の産地へのアンケートで、マスコミへの露出、認知度の向上、新たな顧客の獲得などの効果があったと回答があった。経済的な効果については、まだ統計の調査はできていないが、生産者にとって一番関心が高いところであるため、農林水産省の協力を得ながら、効果を測っていきたい。

インスタグラム広告という新しい広報手段を取るということで、個人的にわくわくしている。インスタグラムの広告を見る人の傾向を加味して広告内容を、吟味して頂きたい。

GI登録を受けたことは、名誉なことだと思う。これを活用して、それぞれの農家に還元されることが一番である。この登録をきっかけに安定経営に向けた取り組みを行っていくことが大切である。

一般質問

議会の映像配信をご覧いただくには



本会議の生中継や録画映像をインターネットにより配信していますので、ぜひご覧ください。また、会議録はホームページ、市役所4階議会図書室、菊川文庫、小笠図書館で閲覧できます。

(令和5年6月定例会の会議録は準備出来次第となります)



一般質問とは？

議員が地域住民に密着している事項や市の施策について、状況確認や今後の方針について説明を求めるため質問を行います。また、市への政策提言を行うこともあります。

質問議員：11名

※議員名の下の()は、所属する会派または政党を示します。



一般 これからの治水対策

西下 敦基(市民ネット)

Q 昨年の市政懇談会において、越水や内水した場合の被害額は約242億円との言及があった。どのような被害が想定されての試算か。

A これまでの河道掘削により、大幅な水位低減効果が図られている。河道掘削を実施しなかった場合、小笠地区で堤防が決壊し家屋・農作物・公共施設の被害額と応急対策費用及び営業停止の損失などから、菊川本川と牛淵川をあわせて被害額が推定されている。

Q 国において60万m³を河道掘削する計画について伺う。

A 河川整備計画の目標掘削土量は、おおむね30年間で約60万m³となっているが、防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策などにより重点的に河道掘削が実施され、令和3年度末までの掘削量は30・5万m³となっている。

Q 黒沢川流域での内水被害の一番の問題は、牛淵川の川幅の狭さ・流水能力が少ないことで



ある。この流域の水害を根本的に解決するために国と協力して江川排水機場より下流の川幅を広げる引き堤や流量を増加させる堤防の改良などを進めていくことができないか。

A 国と情報共有を図るとともに、連携した流域治水への取り組みを引き続き推進していく。本市においては、早期の治水対策効果の発現を目指し、公共用地等を活用した雨水貯留施設の整備及び棚草川隣接地への段階的な整備に取り組んでいく。



一般 「脱炭素社会の実現」について

松本 正幸（みどり21）



2050年、二酸化炭素排出ゼロを目指した、市の「ゼロカーボンシティ宣言」による今後の取り組みについて質問する。

Q 「脱炭素社会」、「カーボンニュートラル」、「ゼロカーボンシティ」と言う言葉をどのように受け止め、定義、整備されているか。

A 脱炭素社会とは、二酸化炭素の排出量をゼロとする社会である。また、「ゼロカーボンシティ」とは、2050年に、二酸化炭素排出量実質ゼロに取り組むことを表明した自治体のことである。

Q 「ゼロカーボンシティ宣言」への掲げる目標達成とは、具体的にどのような事柄を指すのか。また、どのような状態になれば実現したと言えるのか。

A 公共施設のLED化や太陽光発電システム、蓄電池の設置支援等と森林の適切な管理等による吸収源対策である。市域が「カーボンニュートラル」に到達した状態

になった時である。

Q 再生可能エネルギーの活用策と省エネルギー推進策は。

A 「省エネ家電製品購入事業」と「中小企業等省エネ設備導入促進事業」補助制度の創設や拡充策として取り組む。また、森の力再生事業や森林譲与税の活用による森林整備、市民団体等の活動支援に取り組む。

他に、「菊川市の行政経営について」質問をしました。



一般 儲かる農業について

横山 隆一（日本共産党）



当市における茶生産農家数は、この20年間で約6割以上減少し、耕地面積も減り続け危機的状況となっている。この事態を解消する考えをお聞かす。

Q 他産業と均衡する年間農業所得800万円（下限金額480万円）に設定し安定化を図るとしている。目標に達している認定農家の割合は。また、後継者のある割合とその主たる原因は。

A 年間農業所得480万円が207経営体中68経営体（約33%）800万円が33経営体（約16%）後継者がある割合は135人中21人（約15%）である。実態調査は今後検討していく。

Q 掛川市では、本年「茶業版フェアトレード認証制度」を創設することを発表した。生産者の経営が安定する適正な価格で取引を行う茶業者を認定する制度であり、当市でも検討すべきではないか。

A 当市としては、農業経営力を強化していくことが重要と考えて

いる。

Q 菊川市農業の継続・活性化は極めて重要であり全市民がこの危機感を共有し活気ある菊川農業になるよう「菊川市農業振興条例」の制定を考えるべきではないか。

A 農業振興地域整備計画や農業経営基盤強化の促進に関する基本構想等があり、目標達成に向け取り組んでいく。



一般 子どもの目の健康について

織部 ひとみ（みどり21）



コロナ禍においてGIGAスクール構想が加速され、菊川市でも令和元年度よりICT教育が推進されている。児童生徒一人一台端末の環境下で懸念されることは、子どもたちの心身の健康面についてである。特にICT化における子どもの目の健康管理が重要と思われる。市として児童生徒の目の健康管理の取り組みを伺う。

【Q】文部科学省が児童生徒の近視の実態調査を令和3年度から3年間継続して行っているが、市の現状把握の調査結果は。

【A】令和5年度視力1.0未満の割合は小学校23・8%、中学校52・6%で、就学時健診の際には眼科の専門医が健康状況を触診し確認、また毎年養護教諭が視力検査を実施、視力1.0未満の場合は受診を促している。

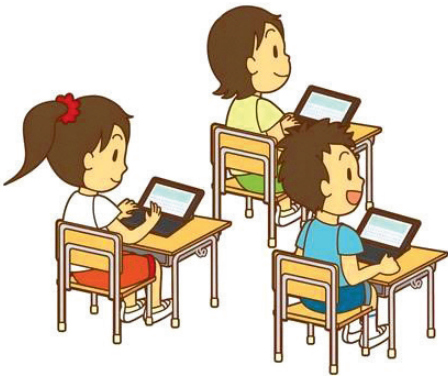
【Q】児童生徒に対して行う目の健康管理と予防対策の取り組みは。

【A】4月当初、学級活動の時間にタブレット使用の約束を配付し、

画面から40〜50センチ離し、20分使用したら画面から目を離し遠くを見るなど指導した。

【Q】各家庭でのスマホ、パソコン、ゲーム機の使用に対する児童生徒への指導や保護者への啓発は。

【A】児童生徒には道徳や学級活動の時間にゲームなどのメディアとの付き合い方や家庭での使用方法を指導、保護者には家庭におけるルールを考えてもらい、ゲーム機等の適切な利用方法について啓発を進めている。



一般 し尿中間槽整備計画の件

織部 光男（無所属）



加茂地区の小川端自治会に、し尿中間槽の迷惑施設が昭和47年に造られました。51年間、土壌汚染の不安、大型タンクローリーが1日7往復、バキュームカーが数十回も行き来する、悪臭と、我慢の限界にきています。施設隣地にお住まいの方から1月27日金曜、市長宛てに文書で要望書提出。面談要求するが5月15日現在、回答がない。

【Q】なぜ市民の要望、意見、質問に真摯に答えないのかを問う。

【A】今後、ご本人と担当者との話し合いの場を持つよう指示しております。

【Q】菊川浄化センターへの受け入れ等は検討をしたのですか。

【A】菊川浄化センターの受け入れについて具体的な検討は行っておりません。

【Q】この問題は、小川端の隣接する人たちの犠牲の上に成り立っているということです。行政として、

施政方針演説にある安心した暮らし、不安のない、そのような暮らしをする為に他に移し、その跡地には公園を造って下さい。小川端には、川の東側には公園はありません。50年間、ありがとうございますという市からの感謝の気持ちを込めて、私は公園一つぐらい造るべきだと思います。いかがですか？

【A】公園に関しましては、特にその計画というのはありません。

他に「下水道総括評価の件」について質問しました。



一般 結婚を望む方への出会い交流支援

東 和子（みどり21）



令和5年度施政方針における主要な取り組みとして、結婚支援、出産支援、子育て支援等の事業が実施され、その中に新婚世帯に結婚新生活支援事業の拡充や、全ての妊婦や子育て家庭に様々なニーズに即した伴走型相談支援、出産育児関連用品応援金の支給がある。

今年度10月からは、こども医療費助成制度も拡充され0歳から高校生年代まで医療費が完全無料になり、結婚・出産・子育てがしやすくなってきたというが、その対象にない未婚の若い人、菊川を愛して住み続けて就労し、菊川市に貢献して結婚を望んでいる人に対する支援の考えを問う。

Q 結婚を希望している人の中には、出会いがなくて結婚にたどり着けないとの声を聞くが、そのことについての考えは。

A 国立社会保障・人口問題研究所の令和3年6月調査で、25歳から34歳の結婚意思のある未婚者が独身でいる理由は、男女とも「適当な相手にまだめぐり会わないか



ら」との回答が最も高かった。この調査結果から結婚希望者が結婚できるように出会いの場をつくることは大切であると考ええる。

Q 社会福祉協議会事業の結婚相談所の相談員と連携したお見合いのできる場所の確保や、磐田市・袋井市・掛川市各市の相談員との各市担当職員との情報や意見交換を行う見解は。

A 結婚相談事業は、お見合い場所としてプラザけやきの会議室などを利用している。また、磐田市・袋井市・掛川市の各相談員と連携し、市内の住民だけでなく市外の方とのお見合いも実施している。

一般 空き家対策の今後は

渡辺 修（みどり21）



空き家対策に関しては令和3年度の総務建設委員会の研究テーマとして取り上げられて提言がなされました。提言は相談窓口設置など7つでした。制度面では空家等対策の推進に関する特別措置法の一部を改正する法律案が閣議決定されました。また、相続土地国庫帰属制度も始まりました。それらを踏まえ空き家対策の今後について質問しました。

Q 菊川市は、空き家問題を抱える市民にどのような対応をし、どのような広報活動をしていますか。

A 近隣の方や自治会等から、地元にある空き家の管理などについての相談は案件ごとに随時受け付けており、職員が現地の管理状況を確認し、必要に応じて所有者の調査、行政指導の順で対応しております。

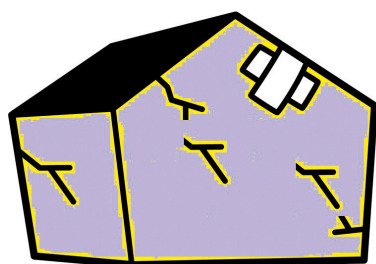
Q 市内の空き家の直近の1年間の増減はどのようになっていますか。

A 空き家の直近1年間の増減についてはですが、空き家等と思われる

る戸建ての住宅の数は、令和3年度が335戸、令和4年度が376戸で、前年と比べ41件増加しております。

Q 新しい制度での管理不全空き家に関しては、特定空き家に比べ指定のハードルが低いと思われるますが、今後この制度を活用していく方針がありますか。

A この制度を活用することで所有者意識が改善され、空き家の処分や適正に管理することなどが期待できると考えておりますので、管理不全空き家が発生した場合は前向きに活用したいと考えております。



一般 地理的表示保護制度活用

須藤 有紀（みどり21）



3月31日、深蒸し菊川茶が地理的表示（GI）保護制度に基づく登録産品として国に登録された。茶としては県内初。

Q 制度導入の目的と効果をどのように見込んでいるか。

A GI導入は地域ブランド力強化に伴う経営の安定化と地域活力の向上を目的としたもの。深蒸し菊川茶の魅力や強みが見える化できたことで、茶関係者や消費者の信頼が得られたこと、国の制度登録により深蒸し菊川茶の魅力発信と安全安心が確保され、世界を視野に入れたビジネスチャンスの拡大につながることも期待している。

Q 近隣市町との差別化や他のGI商品とのコラボなど、PR戦略は。

A GI登録で差別化に踏み出したが、深蒸し菊川茶を消費者や事業者、企業の方々に広く正しく認知していただく事でより差別化は可能。また全国の多様なGI産品とのコラボや複数企業へアプローチ

チが肝要と考え計画している。

Q 輸出先は台湾が2位とのことだが、アジア圏を中心に直接PRに行く計画はあるか。

A 台湾は輸出額約17億円と魅力的。戦略を絞って現地への働きかけ、PRは欠かせない。

Q 発足予定の有機栽培推進協議会や菊川茶輸出促進協議会と連携した有機推進は。

A 今年度中に協議会を立ち上げ、海外の茶の需要調査やターゲット、生産販売体制等検討する。



一般 ゼロカーボンシティに向けて（農業編）

坪井 伸治（みどり21）



地球温暖化対策の推進を旨に菊川市も「ゼロカーボンシティ」を宣言した。二酸化炭素排出量実質ゼロの目標に向けた農業関係の施策について質問した。

Q 農水省のみどりの食料システム戦略の目標達成のための取り組みは。

A 有機農業の取組面積の拡大や化学農薬・肥料の使用量低減などの取り組みが必要で、こうした取り組みを推進するには、農業に携わる全ての方々に戦略を理解していただくことが重要である。支援策については、国のみどりの食料システム戦略推進交付金に化学肥料の低減などグリーンな栽培体系への転換や、有機農業の団地化などの支援メニューが用意されているので、本市においては、農業者の取組状況の確認やご意見を伺いながら、効果的な支援策を検討していく。

Q 営農型太陽光発電施設の現状と今後の事業展開は。

A 令和5年3月末時点で、11か所の営農型太陽光発電が許可されている。営農型太陽光発電については、パネル下部での営農が必須であり、栽培された農作物が地域単収のおおむね80%以上を得ることが条件となっているので、適正な営農がされるよう指導していく。

Q 省エネ設備の導入に関する支援等の事業計画は。

A 省エネ農業用設備の導入等の支援は、国や県により実施されており、本市でも、補助の実施を予定している。

他に「樹木等の適切な維持管理」について質問しました。



一般 地区センター利用ルールを考える

倉部 光世（市民ネット）



令和3年6月に公共施設活用推進と公平な受益と負担のあり方の基準の質問を行った。各地区センターの利用についてのルールの徹底や営利を図るについての解釈等の状況に変化が感じられないという声が依然としてあるため質問する。

Q 営利と判断する基準はどうなっているか。

A 講師等主催の教室やサロンは、材料代を超える月謝や参加費の金銭の授受があるもの、金銭授受はないが企業社員研修や物品販売目的のものは営利として判断。

Q センターにより年間予約可能など違いがあったが全体として統一する必要性は。担当は状況を把握しているか。

A アンケートや事務長への聞き取りで実態把握を行った。今年度、年間予約が可能なのは、公用または公共用の利用に限るとして事務長、庁内部局、市民へ周知した。



六郷地区センター

Q 利用者の解釈違いや既得権的になっている利用がある。営利の考え方や申し込み方法を統一して周知する必要性は。

A 地区センターを月1回以上継続的に利用し会費や謝金等が発生している団体を対象に利用団体登録制度を設け、利用団体の活動状況や営利性について把握に努める。

他に「子ども読書推進のための学校図書館の充実」、「障害のある方への投票支援の必要性」について質問しました。

一般 政策評価と事務事業評価

渥美 嘉樹（至誠の絆）



今回は政策評価及び事務事業評価について「市民にもっと分かりやすく発信すべき」「適切な指標への見直しをすべき」「速やかに事務事業評価を公表すべき」「外部の評価組織の構築をすべき」という立場で質問をします。

Q 政策評価・施策評価が掲載されたホームページへのアクセス数は。

A 令和2年度が99アクセス、令和3年度が107アクセス、令和4年度が124アクセス。

Q 政策評価・施策評価は行政の自己点検ツールではなく、あくまで市民へのコミットメントであり、市民と行政をつなぐ最大のコミュニケーションツールである。その為、よりわかりやすい内容で、SNSや広報きくがわなどでも積極的に発信すべきと考えるが、方針を伺う。

A 発信内容を研究し、引き続き工夫・改善を図っていく。

Q 政策評価と施策評価は、事務事業評価との役割を明確にし、市民へコミットメントの役割を強化するため、外部の意見を取り入れながら、次期総合計画にむけ指標を再検討すべきと考えるが、方針を伺う。

A 次期総合計画に向けて検討する。

Q 事務事業評価は、議会や市民への公表がいつ行われるのか。

A 市民の皆さまに分かりやすい周知方法を本年度中に検討し、周知・公表する。

他に「ChatGPTの活用」、「消防団の団員確保及び業務マニュアルの作成」について質問しました。

行政評価の概念図



令和4年度政務活動費収支報告

(単位：円)

会派名		みどり21	市民ネット	織部光男議員	横山隆一議員	合 計
項 目	交付額	1,300,000	200,000	100,000	100,000	1,700,000
	雑収入	9	0	0	0	9
	計	1,300,009	200,000	100,000	100,000	1,700,009
支 出	調査研究費	0	0	0	0	0
	研修費	308,300	108,000		0	416,300
	広報費	313,830	92,000	100,000	100,000	605,830
	広聴費	0	0	0	0	0
	要請陳情活動費	0	0	0	0	0
	会議費	0	0	0	0	0
	資料作成費	0	0	0	0	0
	資料購入費	15,400	0	0	0	15,400
	人件費	0	0	0	0	0
	事務所費	0	0	0	0	0
	その他の経費	180,968	0	0	0	180,968
	合計	818,498	200,000	100,000	100,000	1,218,498
残 余 金		481,511	0	0	0	481,511

※残余金については、市に返還済です。

※会派 至誠の絆については、令和4年度の政務活動費は交付してありません。

政務活動費収支報告

「政務活動費」とは：

議員が行う調査や研究、その他の活動に資するため必要な経費の一部を交付するもので、菊川市では議員1人当たり年額10万円を限度に、会派及び会派に所属していない議員へ申請に基づき交付しています。

令和4年度の交付額は次のとおりです。

- ・みどり21 130万円
- ・市民ネット 20万円
- ・会派に所属しない議員（2人）各10万円

議会改革度調査2022

早稲田大学マニフェスト研究所が発表した「議会改革度調査2022」において、菊川市議会は全国総合57位（前年度50位）、静岡県内1位（前年度1位）との評価を受けました。

菊川市議会では、ICTの推進や議会改革推進のため委員会設置を行い、これまでの取り組みも含めて評価されたものと思われます。

議会改革度調査とは

早稲田大学マニフェスト研究所が、全国の地方議会に対し、前年1年間の議会活動の取り組みなどを調査し、数値化する事でランク付けし公表しております。今回は、回答数1416議会（回答率79・2%）でした。

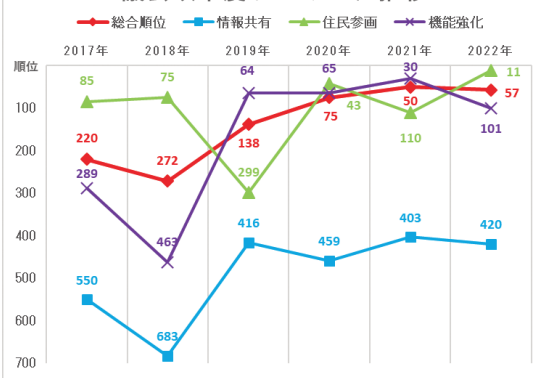
調査の観点は、議会が果たすべき役割として3つの柱をあげ、改革度を数値化し、ランキング化しています。

【調査の観点】

- ・情報共有（本会議などの議事録や交際費視察結果の公開具合と検証）
- ・住民参画（傍聴のしやすさ、議会報告会などの実施、住民意見の徴収）
- ・議会機能強化（議会本来の権限・能力を発揮するための機能強化状況）

今後もより良い議会となるよう取り組んでいきます。

議会改革度ランキング推移



議会活動レポート

議会ふれあいミーティング

「語ら座あ」

議会報告会を開催し、令和4年度の議会の活動について、報告を行いました。

市内11地区ごとに各地区センターを会場にして開催し（6月8日の小笠東地区は大雨の影響で中止）、最後に全体会を7月8日の土曜日に「プラザきく」で行いました。各会場とも多くの市民の皆さまに会場いただき、誠にありがとうございました。



報告内容

- ・市議会の仕事と概要
- ・令和4年度政策討論会「男女共同参画の推進」
- ・総務建設委員会の活動「公共事業の民間主導による開発について」
- ・教育福祉委員会の活動「幼保施設の現状把握と今後のあり方」
- ・意見交換

参加された皆さまとの意見交換の中で寄せられたご意見やご提案は、集計・分析を行い、市議会のホームページなどで公表するとともに、今後の議会活動に活かしてまいります。



現地での説明と同じ内容のYouTube動画はこちらから

令和5年度政策討論会テーマ

「農業の現状とこれからについて」

「市政に関する重要な政策及び課題に対して、議会としての共通認識の醸成を図り、合意形成を得る」ことを目的に、政策討論会を全議員で行っています。

耕作放棄地の増加や、担い手不足が課題となっていることから、今年度は「農業の現状とこれからについて」をテーマとしました。

情報収集・分析・意見交換を行い政策討論会として意見をまとめさせていただきます。



水管理システム



神座分木工

大井川右岸土地改良区視察
菊川市の農業にかかせない「命の水」である大井川右岸の農業用水活用状況について知識を深めるため、政策討論会として、7月13日に視察研修を行いました。

大井川右岸土地改良区での説明を受けた後、大井川の水を左岸と右岸へ分配する「神座分水工」、大井川を渡って用水を供給するための「大井川水路橋」、菊川から取水する「菊川頭首工」の3か所を見学しました。

議会活動レポート

令和5年度

原子力勉強会

他市議会からの視察受け入れ



視察先
・日本原燃株式会社 原子燃料サイクル施設 (青森県六ヶ所村)
・東北電力株式会社 女川原子力発電所 地域総合事務所
(宮城県女川町)

視察日程
令和5年7月20日(木)
～7月21日(金)



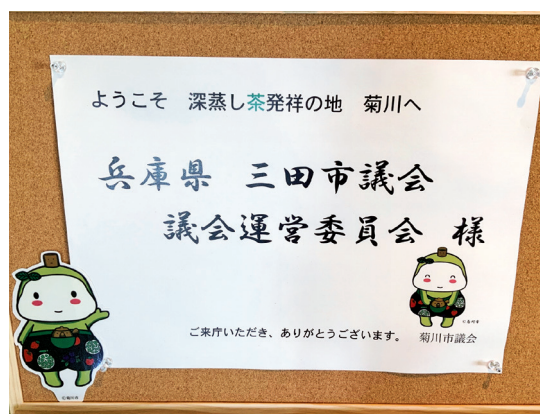
平成27年に国や県、事業者に対して市議会から提出した「浜岡原発の再稼働に関わる意見書」を基に、再稼働に向けた現状の確認や原子力に関する課題等に対処するため、共通認識や多角的な知識を得ることを目的に、原子力勉強会を毎年実施しています。

青森県六ヶ所村の原子燃料サイクル施設は平成28年度にも視察を行いました。当時とは完成延期となっていた核燃料再処理工場が令和6年度に竣工する予定のため、再度視察に行きました。



受け入れ実績(7月末時点)

4月27日 福島県福島市議会 議会運営委員会
5月11日 富山県高岡市議会 会派 未来創政会
5月16日 兵庫県三田市議会 議会運営委員会
7月5日 福岡県糸島市議会 議会運営委員会



新型コロナウイルスがら類感染症へと移行したこともあり、多くの市議会から「菊川市議会のことを参考にしたい」と視察のお申し込みを頂いております。議長からの歓迎の挨拶の後、菊川市議会の説明をし、質疑応答を行いました。意見交換での情報共有は双方の議会にとって有意義なものとなりました。

菊川市までお越しくださった皆さま、ありがとうございました。

みんなの声

投稿者より

日頃の活動ありがとうございます。コロナも5類となり、少しずつ以前の生活に戻るようになればいいですね。
今後もよろしくお願いします。

傍聴者より

治水に関する考えがきけてよかったです。台風2号に関するニュースがある中、リアルタイムな質問で、水害対策に対して、市の対策や予算等が分かりました。水害にならないように、ぜひ、今後も取り組んでいただけたらと思います。

《皆さまの声をお聴かせください》

「議会のひろば」を読んだ感想や意見をお寄せください。
もれなく菊川市議会特製“きくのんクリアファイル”をプレゼント!!

- メール gikai@city.kikugawa.shizuoka.jp
- FAX (0537) 35-2116
- 郵送先 〒439-8650 静岡県菊川市堀之内61番地

※議会への要望や意見なども受け付けています。

※クリアファイルの郵送のため、住所と連絡先も記載ください。



メール送信はこちらのQRコードを読み取ると便利です

議会豆知識

「反問権」についてもっと詳しく

議会審議における議員と市長等執行機関及びその職員は緊張関係の保持に努めなければならないとされており、菊川市議会基本条例第8条(3)項には、「市長等は、議長又は委員長長の許可を得て、議員の質問及び質疑に対して反問することができ」としています。

反問の定義

(1) 議員の質問や質疑に対し一方的に答えるのではなく、その根拠や内容について逆質問すること。また、その対案を求めること

(2) 論点・争点を明確化するため、質問や質疑の内容を確認すること

反問の目的

(1) 質問や質疑の質を高め、より深い効果的な議論を行うことを目指す

(2) 一層の緊張感漂う議会を実現

(3) 単なる要望ではなく、政策提案型の質問や質疑を目指す

反問の例

- ・質問が批判に終始する場合
「〇〇議員 どういう施策があるかお聞かせ願いたい」
- ・質問が具体的でない
「〇〇議員 要綱のどこをどのように変更したらよいのか、教えていただきたい」
- ・質問の意図が明解でない
「〇〇議員 何が聞きたいか」
- ・質問が明らかに誤っている
「〇〇議員 それは誤りではないか」

他に発言方法、発言回数等について、反問の実施方法が定められています。

是非、本議会での執行部と議員のやりとりをご覧に議場へ傍聴にお出かけ下さい。また、菊川市議会の映像配信もさせていただきますのでご覧下さい。





きかせてママの声

Vol.30

菊川市に住むお母さんに
聞きました。

結婚後、東京から菊川市へ引っ越し、今年で10年目になりました。菊川市に来て、最初感じたことは「茶畑の景色がとても美しいこと」「お茶がとにかくおいしいこと」でした。菊川市の持つ魅力を活かしながら、これからもどんどん発信していったらいいと思います。また、子育てをする中で、相談し合えるママさんや先生方、地域の方に出会うことができました。今も菊川市に住み、菊川市の良さを日々感じています！

村松 こずえ さん



9月定例会の予定 (各日とも午前9時～)

9月

1日(金) 議案の提案説明

7日(木)

一般質問

8日(金)

11日(月) 質疑・討論・採決・委員会付託

28日(木) 委員長報告・質疑・討論・採決

29日(金) 予備日

※予定が変更になる場合がありますので、
事前に議会事務局（35-0941）へご確認ください。

編集後記

夏、緑が美しい季節です。あおあおとした自然にマイナスイオンを感じつつ、草むしりに頭を悩ませる方も多いはず。今回、特集にご協力頂いた、西方地区「郷援隊」の皆さまは、地域の「困った!」を解決する素晴らしい取り組みをされていました。自助と共助の精神に感動を頂きました。末筆ながら改めてインタビューにご協力くださった皆さまに感謝申し上げます。ありがとうございました。

(編集委員 須藤 有紀)

【無料】地域住民と自治体をつなぐアプリ「マチイロ」
菊川市議会だより「議会のひろば」も登録しています！



ダウンロードはこちら

マチイロ



次回の議会のひろばは
11月発行予定です。

(年4回発行)
お楽しみに！



表紙の写真

菊川市の風景を紹介していきます。

田んぼアート菊川2023
「徳川家康公」

撮影地：菊川市下内田
田んぼアート会場

